

## 2016年度委員会事業報告書

専務理事 服部高志

事務局長 吉岡和也

### 1. 委員会開催日 (17回)

1 / 12	2 / 12	2 / 18	3 / 10	3 / 29	4 / 14	5 / 12
5 / 23	6 / 9	7 / 14	8 / 2	9 / 8	10 / 13	11 / 1
11 / 10	12 / 1	12 / 27				

### 2. 事業報告

①定時総会・臨時総会の担当	1月29日・8月18日・12月19日
②西尾張6JC合同例会(9月例会)の担当	9月
③クリスマス家族会・卒業生を送る会(12月例会)の担当	12月
④公開討論会の担当	通年
⑤定款諸規定及び会員名簿CD-Rの作成	2015年12月
⑥誕生日祝い品の選定	2015年12月
⑦総会の記録管理	1月・8月・12月
⑧シニアクラブ総会の担当	1月
⑨基本資料の作成	1月
⑩委員会表彰及び100%出席祝い品の選定	12月
⑪卒業生記念品の選定	12月
⑫日本JC京都会議の担当	1月
⑬西尾張6JC正副理事長会議の担当	通年偶数月
⑭JCI ASPACの担当【台湾】	6月
⑮総会・例会の出席者確認報告	通年
⑯定款諸規定の見直し	通年
⑰LOM運営マニュアルの見直し	通年
⑱理事会議案の作成・精査	通年
⑲周年事業の資料収集	通年
⑳マイナンバー制度導入に伴う庶務	通年
㉑マイナンバーの取得、管理、保管、廃棄	通年
㉒委員長、副委員長セミナーの設営	2015年08月
㉓合同予定者委員会の設営	2015年09月
㉔名刺作成の窓口	2015年09月
㉕定款諸規定及び会員名簿CD-R購入の窓口	2015年12月
㉖ネームタグ、スローガンパネルの作成	2015年12月
㉗理事会ネームプレートの発注	2015年12月
㉘年賀状の発送	2015年12月
㉙新入会員の拡大	通年
㉚新入会員の育成	通年

①慶弔の窓口	通年
②各諸団体の事業に関する窓口	通年
③L O Mポロシャツの発注	通年
④その他の庶務	通年

### 3. 委員会メンバー：

吉岡和也 加藤昌之 浅野 勝 星野功至

### 4. 反省点及び申し送り事項

事務局では、本年度篠田理事長の掲げるスローガン「波紋～呼び覚ませ創始の想い 挑戦しよう海部津島のために～」を実践する海部津島青年会議所のしっかりとした基盤となるべく活動してまいりましたが、事務局としての責任感に欠けた部分や甘えから、担いを全うできていない部分が多々ありました。事務局メンバー全員が事務局を運営するという意識をもち、担いを理解し、協力していくべきでした。

理事会の運営に関しては、前年度からの申し送りを受けていたにもかかわらず、事務局のチェック機能を十分に果たすことができませんでした。資料・議事録の配信も度々期限に間に合わせることはできませんでした。青年会議所は様々なルールに則って厳しく運営されており、その環境こそが学びとなります。近年の青年会議所は厳しい部分が少なくなっていると言われます。青年会議所が青年会議所であるために、自分を顧み、より高みを目指していくことが必要であると感じました。振り返ると、資料の提出期限や精度について全体的に意識を高めることができなかったことが一つの原因であり、それが理事会運営にも影響したと考えております。資料を提出期限までにそろえることが難しく、それが理事会資料配信に多大な影響を与えるということであれば、資料の提出締め切りを早めることもひとつの解決策になると考えます。ルールの働きかけを行うとともに期限ごとに働きかけを行い、意識づけ、時には断固たる姿勢をもって行動することで提出期限の厳守、メンバーの資質向上にもつながると考えますので申し送りさせていただきます。

総会の運営においては、総会の真の意義、目的を十分に理解しないまま運営したことが原因で過去には類を見ないほどの設営・資料の不備が多々ありました。猛省しております。一般社団法人海部津島青年会議所の最高意思決定機関である総会において不備があってはなりません。運営に関する引き継ぎはもちろん、大勢の目による資料の精査、総会の意義や目的をしっかりと引き継ぎしていくことの重要性、毎年引き継ぎ事項を追記していく運営マニュアルの重要性を改めて感じました。

予定していた飛島村の首長選挙での公開討論会は、無投票により決着したため公開討論会の開催を行うに至りませんでした。明るく豊かなまちづくりを目指す海部津島青年会議所としては昨年の申し送りを踏まえ、地域住民自らが未来を考えることができるような場を設けることも必要であったと考えます。選挙権の枠が広がり、より若い方々も地域の未来を考えるきっかけが増えています。公開討論会だけにとらわれることなく、積極的に意識変革のきっかけをつくることで地域住民の間に、自らの手で未来を変えていく、という意識をひろげていくことができると考えます。

12月例会においては、家族をテーマに掲げて議案上程し、設営させていただきました。テーマを掲げて事前の打ち合わせから準備を行っていったことで、ご家族の皆様からも、卒業生の皆様からも良い会であったと感想をいただき、大変光栄に思っております。その反面、難しさも痛感しました。事務局の人数が少ないことは最初から分かっていたことなので、事前にしっかりと準備をし、メンバーにも声掛けをし、事前打ち合わせを行うなど、振り返れば出来ることはたくさんあったのですが、なかなか思うように動くことができず、反省点の多い例会となりました。しかしながらその中で自分たちの足りない部分を仲間、とりわけ歴の若いメンバーに支えていただき、青年会議所の3信条である友情の素晴らしさを実感しました。

一年を振り返ると、いかに海部津島青年会議所の土台として、事務局らしくメンバーの活動をサポートし

ていくかと考えた一年でした。事務局が先陣を切って他の委員会に姿を見せることでメンバーに刺激を与え、海部津島のために挑戦しようというメンバーの気概につながっていくと考えてまいりました。しかしながら模範となるべき姿を事務局自身が見せることができず、至らなかった点であると反省しております。

## 5. 委員長所見

事務局長として、海部津島青年会議所の運動がスムーズであるように努めなければならない、と考え活動してまいりました。しかし理事会資料の精査、配信期限の厳守、総会の設営など、出来て当たり前の部分のうち、大部分で私の準備不足により多くの皆様にご迷惑をおかけいたしました。お詫びいたします。当たり前のことを当たり前に行うためには、何ごとも基本から、しっかりと準備をしていくことが何より大切です。何ごとも目的を明確にし、プロセスを考え、周到的な準備をし、目標に向かって突き進んでいくのが青年会議所であります。事務局長として日々を過ごす中で、何のために行うのか、という所まで考えが及ばないことが多々あり、それが様ざまなところに影響を及ぼしたことを猛省しております。JCメンバーとして常に高い目標を見据え、積極的に取り組む必要を再認識した一年でした。

事務局メンバーには、事務局の運営に積極的に携わっていただくことができました。事務局として設営する場においては事前に役割分担をし、各自責任をもって行動していただきました。私自身の課題として、事務局メンバーをいかに巻き込めるか、ということを考えておりました。事務局メンバーはセクレタリーという担いを全うしながら、事務局メンバーとしても全力で動いていただきました。次年度以降、それぞれのメンバーがLOM内や出向先で大いにリーダーシップを発揮し、活動していただければ大変嬉しく思います。

事務局長という役職を経験することで多くのことを学ばせていただきました。事務局は通常の委員会とは運営が異なりますが、仲間の素晴らしさを改めて学ばせていただきました。事務局長として至らない点はたくさんありましたが、このような成長の機会を与えていただいた理事長はじめLOMメンバー、そして事務局メンバーに感謝申し上げます。一年間、本当にありがとうございました。

## 5. 収 支 決 算

収入の部				支出の部			
予 算		決 算		予 算		決 算	
事業費	564,239	事業費	464,239	③	35,192	③	35,192
				④	100,000	④	0
				⑤	70,000	⑤	70,000
				⑥	34,020	⑥	34,020
				⑨	8,208	⑨	8,208
				⑩	115,507	⑩	115,507
				⑪	201,312	⑪	201,312
合 計	564,239	合 計	464,239	合 計	564,239	合 計	464,239